

ムスカリ・アルメニアカム

Muscari armeniacum H.J.Veitch

キジカクシ目 キジカクシ科 ツルボ亜科 (クロンキスト体系: ヒアシンズ科)

耐寒性の秋植え球根で、ムスカリ属で最も栽培されている種。葉は線形で長さ30cm、冬の間伸びるので、寒さが厳しい年は開花時に先端が枯れていることもある。4月に高さ20cmの花茎を伸ばし、青紫色の小花を穂状花序につける。小花の先端は白い縁取りがあることが多い。白、ピンクなどの品種がある。青色がないチューリップやスイセンと同時期に咲くので、混植されることが多い。

原産地・分布: ヨーロッパ南東部～コーカサス地方

Muscari 属 花産業必修1000属検定 C級

ムスカリ属



千葉大学大学院園芸学研究科 2024-12-23

Name ID: 1176

